

# くりまっこ



元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子

## 今年度の学校運営方針です。よろしくお願ひします。

### 1 学校教育目標

「つながり合い 学び合う学校 ～あたたかく つよく しなやかに～」

自ら進んで考え、仲間とともに学び合い、学ぶことが楽しいと実感できる子どもを育てる

#### 学校づくりの原点

「学校っていいな 友だちっていいな 先生っていいな 栗真っていいな わたしっていいな」

#### めざす学校像

- 楽しく生き生きと学び合う学校
- 新しい歩みを創り出す学校
- 保護者・地域に信頼される学校

#### めざす子ども像

- 自ら進んで考え学び続ける子ども
- 自分も人も大切にできる子ども
- 健康で粘り強く取り組む子

#### めざす教師像

- 互いに磨き合い、高まり合う教師
- 子どもの声に耳を傾け、子どもから学ぼうとする教師

「3つの見る」を大切にし「**ていねいにつながる**」学校経営・学級経営を進めます。

〈子どものありのままを見る〉〈子どもの変化を見る〉〈子どものつながりを見る〉

ていねいに見て、ていねいにかかわり、ていねいにつながることで「いいな」とみんなが実感できる学校！

信 頼 感

達 成 感

安 心 感

自 己 肯 定 感

つ な が り

いいな

### 2 重点目標

- (1) 「学ぶことが楽しいと実感できる」授業づくりを推進します。
- (2) 「考え、議論する道徳」と「人権教育」の実践を通して、共に生きる仲間づくりを推進します。
- (3) 自分自身の成長に関心を持ち、進んで体力向上を目指す児童の育成に努めます。
- (4) 地域の方々とのつながりを通して、生活と安全を守る行動力をもった児童の育成に努めます。
- (5) 保護者や地域とのよりのていねいな情報共有に努めます。
- (6) 安全で安心な学校を目指し、災害への備えや通学路の点検・校内学習環境の整備に努めます。
- (7) 「チーム栗真」として、互いに信頼し、助け合い、高めあえる職場づくりを推進します。
- (8) 教職員の総勤務時間の短縮に向けた取組を推進します。

## 図書館ボランティア会議を開催しました！

4月21日（木）に、第1回目の図書館ボランティア会議を開催しました。栗真小学校では、1年生と2年生を対象に、図書館ボランティアさんの読み聞かせを毎月1回実施しています。また、12月には、クリスマスのおはなし会も実施しています。今回の会議では、今年度の活動計画について話し合ってくださいました。図書館ボランティアのみなさん、今年度もよろしくお願いいたします。

なお、会議の中で、新たに図書館ボランティアさんを募集したいとの声も上がっていました。「やってみたいな」と、興味のある方は、学校まで連絡していただくと、ありがたいです。子どもたちのために、ぜひお願いします。

## 読書と学力との関連～読書週間の大切さ～について

全国学力・学習状況調査の結果から、「読書が好き」と答えた子どもほど、国語と算数のテストでの得点が高いことが分かっています。平成28年度の結果では、国語では最大15点、算数では最大10点近く高いスコアを出しています。つまり、本好きな子どもは、国語だけでなく、算数でも良い成績をおさめることができるのです。では、なぜ本が好きな子どもは、これほどまでに高い学力を発揮することができるのでしょうか。松永暢史氏は、本を読むことで、国語力～日本語を用いてものごとを理解し、表現する力～が上達すると語っています。国語力はすべての科目を学んでいくうえで必要になる力です。国語力がない子は算数の文章問題が解けなかったり、社会・理科の授業や総合的な学習において自分の考えをまとめて発表することが苦手だったりします。つまり、国語力は、全教科の成績に大きな影響を及ぼす、学力の基盤となる力なのです。そして、松永氏曰く、この力を身につけるのに効果的なのが「読書」だそうです。

平成25年度の全国学力・学習状況調査の結果に係る調査研究からは、「親の読書」と子どもの学力の関係についての発表がありました。この調査から、絵本の読み聞かせに限らず、子どもの読書習慣や、親からの読書の働きかけが、学力に強い影響力を持っていることだけでなく、もうひとつ重要な要素として、「親の読書」習慣が影響していることも判明したそうです。当然、親が頻繁に読書をする家庭の子どもほど、「読書の働きかけ」に応じて読書量が多いと考えられます。全く本を読まない親の言葉よりも、日頃からよく本を読んでいる親の言葉の方が、子どもも納得しますよね。親の読書習慣の有無が、子どもの読書習慣を左右し、国語のみならず算数の成績にも影響を与えていることを考えれば、親も本を読むようにしたいものです。

また、ショーイ氏によると、「読書は子どもの学力向上と関係するが、読書習慣の方が大事」であり、社会に出てからは、「学力」以上に、読書習慣から身につく能力である「興味があることを掘り下げる能力」「未知のことを知りたいという好奇心」「読書習慣による豊富な知識と語彙力」が重宝されると語っています。親子で読書週間が身につくとよいですね。